平成３１年度　福島県立若松商業高等学校　経営・運営ビジョン

福島県立若松商業高等学校 校訓

明浄　正直　誠実　剛健

学校経営・運営ビジョン

1　文武両道の学校づくりを推進し、勉学・部活動を通して人間力（学力・品格・徳性・心技体）を高め、社会の形成者として必要とされる資質を備えた生徒を育成する。

2　生徒事故、職員事故及び学校事故の防止を図り、安全・安心な学校づくりに努める。

教育方針

人間教育
- 人間性・社会性の育成
- 21世紀社会への貢献

全人的な教育

学力向上
- 普通教科の基礎学力
- 専門教科の知識・技能

文武両道
- 品格・個性・心技体
- 商業高校としての実績

◎服務倫理の遵守◎

教育目標

①「明浄・正直・誠実・剛健」を学校生活に具現化させる。　②　より高い志を持たせ、進路目標の実現を支援し達成させる。
③　若商の特色を生かした教育活動を通して、社会人として必要な資質を高めさせる。

一年
1　基本的生活習慣の確立
2　基礎学力の定着
3　進路意識の醸成

二年
1　健全な生活習慣の確立と自己管理能力の育成
2　学力の向上
3　進路実現に向けての考察

三年
1　生活習慣の確立
2　学力の定着
3　進路希望の実現

希望進路の実現
①大学・短大進学希望者合格１００％
②公務員希望者合格１００％、就職内定１００％
③キャリア教育の充実

基礎学力の定着と専門教科の充実
①成績優秀者　各学年１５％以上
②全校一斉の「朝の読書」活動の充実、１人月１冊以上
③全国商業高等学校協会主催の検定１級３種目以上合格３５名以上

欠席や遅刻・早退の防止
①欠課時数の減少、健全な生活習慣の確立
②１年間皆勤賞　各学年４０％以上

集中した部活動の実施
①部活動終了時刻・下校時刻の徹底
②部活動実活動率８５％以上

社会人にふさわしいマナーや能力指導の充実
①服装・頭髪の端正な身だしなみ、挨拶の励行
②コミュニケーション能力の育成
③生活環境の整理整頓と美化

安全教育の充実、法令遵守意識の高揚
①事故や問題行動の根絶
②防火・防災の徹底

開かれた学校づくりの推進
①ＰＴＡ活動の充実
（ＰＴＡ総会出席率７０％以上）
②広報活動の充実
③学校ホームページの充実

◎学校に対するご意見、ご質問がありましたら、右記までご連絡ください。　〒965-0875　会津若松市米代一丁目3番31号　福島県立若松商業高等学校　TEL0242－27－0753　Fax　0242－29－7380

各　部

総務部
1　PTA総会の強化
2　防火防災対策の充実
3　PTAによる学校教育活動への積極的協力
4　マイクロバスおよびメール配信の適切な運営

教務部
1　教員の教科指導力の向上
2　生徒の基礎学力向上
3　授業時間の確保
4　教育課程の改善

生徒指導部
1　基本的生活習慣の確立
2　非行の防止
3　盗難の防止
4　交通事故の防止
5　教育相談の充実

生徒会指導部
1　生徒会活動の活発化
2　大会データの迅速な活用
3　生徒会会計の適切な運用

進路指導部
1　生徒ひとりひとりの希望する進路の実現
2　生徒ひとりひとりの「夢実現」に対する支援
3　生徒の進路意識の早期確立及び啓発

保健厚生部
1　心身ともに健全な生徒の育成
2　環境衛生活動
3　教職員の健康保持

図書部
1　生徒に必要な資料及び情報の収集・整理、利用しやすい環境作り
2　生徒の問題発見及び解決能力を養う活用方法の構築
3　図書委員会の主体的な活動を促す環境・組織作り、指導
4　「朝の読書」を通した生徒の学習活動への支援及び人格形成

情報管理部
1　部署ごとのWebページ更新の促進
2　Webページの管理・サポート
3　校内クラウド化のネットワーク管理の徹底

若商デパート
1　商業教育の有効な資源としての若商デパートの活用
2　効率的なデパート経営
3　地域との連携
4　デパートの設備機器の充実

各教科

商業科
1　指導力の向上に努め、「わかる授業」を実践する。
2　商業教育をとおして、ビジネスマンとしての資質向上に向けた指導を充実させる。
3　資格取得に向けて、充実した指導を行う。
4　総合実践の研究を行う。

国語科
1　生徒の基礎学力の定着を図る。
2　生徒の読解力・要約力・表現力の向上を図る。
3　小論文指導や読書指導の充実を図る。

地歴・公民科
1　国家及び社会の形成者として必要とされる資質を育む。特に学校における主権者教育において期待される役割を果たす。
2　生徒が歴史的事象や社会的事象を身近にとらえ、理論的に考察する力を養う。また、自分の考えや意見をまとめ、表現する力を養う。
3　社会生活に必要な事柄や公務員など生徒の進路希望実現も見据えて、基礎的な用語や事項を理解させ、基礎的な学力の定着を図る。
4　演習や作業、発表などを通じて主体的に学習する態度を身につけさせる。
5　各担当者間で定期的な話し合いを持ち、進度や目的の達成について共通理解を図りながら進める。

数学科
1　わかりやすい授業を実践し、家庭学習できる環境をつくり基礎学力の向上を図る。
2　進路実現に向けた学力の育成を図る。

理　科
1　生徒の興味・関心が持続し、自ら考え前向きに自然の事物・現象に向き合うことができるよう指導に努めるとともに、豊かな自然観を育成する。
2　教材を工夫し、理解しやすい授業展開の実践に努める。

英語科
1　3年間の見通しを持ち、4技能（読む・書く・話す・聞く）をバランス良く身につけさせる授業を行う。
2　生徒が自主的に学習に取り組めるよう学習環境を整備する。
3　全商英検等の資格取得を目標に指導する。

保健体育科
1　学習規律の確立を図る。
2　運動の学び方を育成し、生涯スポーツ実践のために運動の楽しさを味わわせる。
3　運動技能・体力の向上を図る。

芸術科
1　音楽に親しみ、生涯にわたって音楽を愛好する心情・態度を育成する。
2　音楽を演奏するための基本的な技術・知識を身に付けさせ、主体的に表現する力を育成する。
3　音楽の多様さや様々な表現の在り方を理解させ、その良さや魅力について自ら考える力を育成し、音楽を深く味わう感性を育成する。
4　音楽と生活との関わりを意識させる。

家庭科
1　生活を主体的に創造する能力を育成する。
2　職業観を育成する。